

令和6年度に取り組んだ主な事業

元気で魅力あるまち

移住定住環境整備事業費 ……2,972万円
移住定住推進事業費 ……1,101万円
恋文のまちづくり推進費 ……1,045万円
能代市総合体育館大規模改修事業費 ……4億2,860万円



笑顔で人が輝くまち

子ども・子育て支援事業費
(施設型給付費・委託費) ……13億4,852万円
スクールDX推進事業費 ……5,770万円
向能代公民館改築事業費 ……1億6,265万円
学校給食費物価高騰対策支援事業費 ……2,578万円

豊かで活力あるまち

ねぎ産地持続発展対策事業費 ……3,240万円
森林・林業活性化総合支援事業費 ……6,103万円
企業誘致推進事業費 ……1億1,472万円
能代工業団地拡張事業費 ……3億4,275万円

安心で暮らしやすいまち

防災対策費 ……1,682万円
地域公共交通活性化事業費 ……6,404万円
市営万町住宅建替事業費 ……12億1,461万円
住宅リフォーム支援事業費 ……8,871万円



【一般会計（内訳は円グラフ）】

実質収支は約12億円の黒字となりました。

- ①歳入総額 ……369億 959万9千円
- ②歳出総額 ……356億5,795万8千円
- ③差引（①－②） ……12億5,164万1千円
- ④翌年度へ繰り越すべき財源 ……6,469万6千円
- ⑤実質収支（③－④） ……11億8,694万5千円
- ⑥前年度実質収支 ……12億4,004万円
- ⑦単年度収支（⑤－⑥） ……△5,309万5千円
- ⑧財政調整基金積立金 ……6億2,212万3千円
- ⑨繰上償還金 ……0千円
- ⑩財政調整基金取崩額 ……1億8,984万4千円
- ⑪実質単年度収支（⑦＋⑧＋⑨－⑩）
……………3億7,918万4千円

【健全化判断比率】

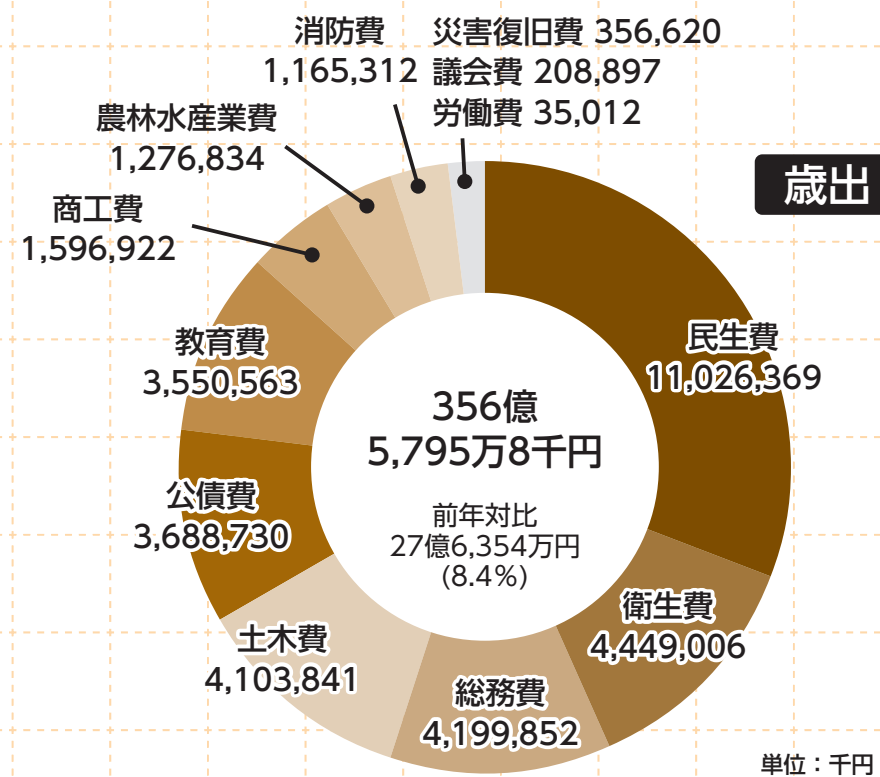
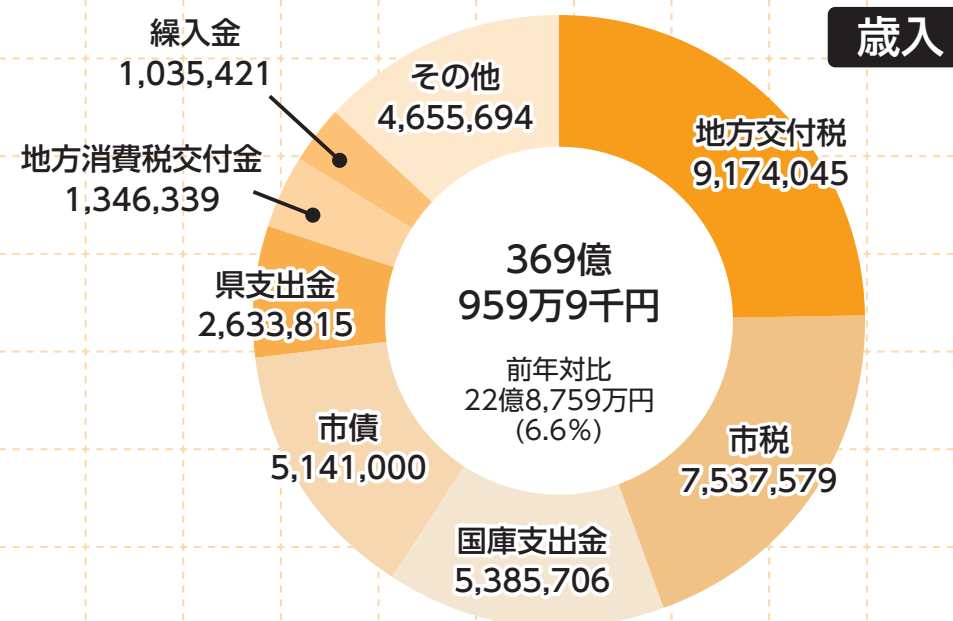
- 実質赤字比率 △ 7.03% (12.65%)
- 連結実質赤字比率 △ 23.45% (17.65%)
- 実質公債費比率 9.2% (25.0%)
- 将来負担比率 71.2% (350.0%)

※カッコ内は国が定めた早期健全化基準。能代市はいずれも適正な水準となっています。

特別会計決算の内訳 単位：千円

特別会計とは、一般会計とは別に特定の歳入と特定の歳出を区分して経理する会計です。

特別会計名	歳入	歳出
農業集落排水事業	16,623	16,363
浅内財産区	1,615	1,615
常盤財産区	1,198	1,198
鶴形財産区	914	914
檜山財産区	683	683
国民健康保険	5,298,668	5,269,770
後期高齢者医療	813,138	809,943
介護保険	8,028,535	7,572,099
合 計	14,161,374	13,672,585



令和6年度決算 市の財政状況をお知らせします



過去最大の規模となりました

令和6年度一般会計

歳入 約369億円

6.6%増

歳出 約357億円

8.4%増

実質収支は約12億円の黒字で、財政調整基金より約2億円を繰り入れており、実質単年度収支は約3億800万円の黒字となりました。

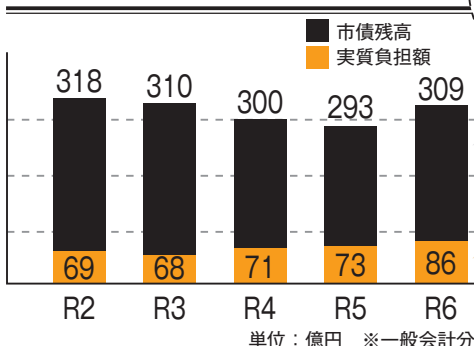
財政健全化法に基づく判断比率については、いずれも国の定める基準を下回っており、財政状況は「健全な範囲」となっています。

今後は、歳入では、人口減少などにより市税や地方交付税の減少が見込まれ、歳出では、老朽化した施設・設備の更新、防災・減災への対応、物価高騰に伴う物件費や人件費の増加など、新たな課題への対応が見込まれるため、さらに厳しい財政状況になると予想しています。

そのため、経費の節減に努めつつも、市の発展に必要な事業については、財政調整基金などを活用し、取り組んでいきます。

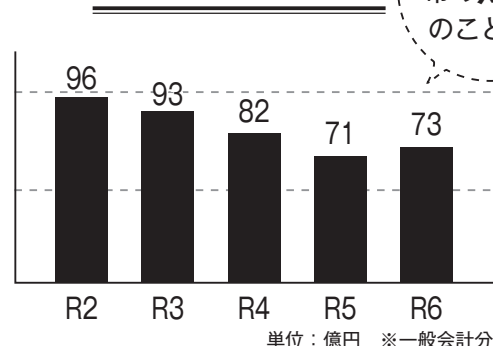
▼問合せ 財政課 TEL 89・2122

市債残高と実質負担額の推移



市債とは市の借金のことです

基金残高の推移



基金とは市の貯金のことです